

秋田駒ヶ岳

○概況

火山活動に変化はなく、穏やかに経過しました。

地震活動の状況

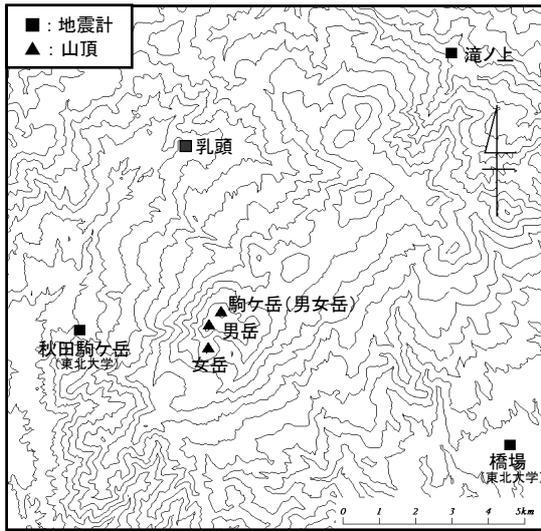
地震回数の月合計回数は3回(11月3回)と、引き続き低調な状態が続いています。

モホ面付近(深さ30km前後)が震源とみられる低周波地震が1回観測されました(11月なし)。

火山性微動は観測されませんでした。

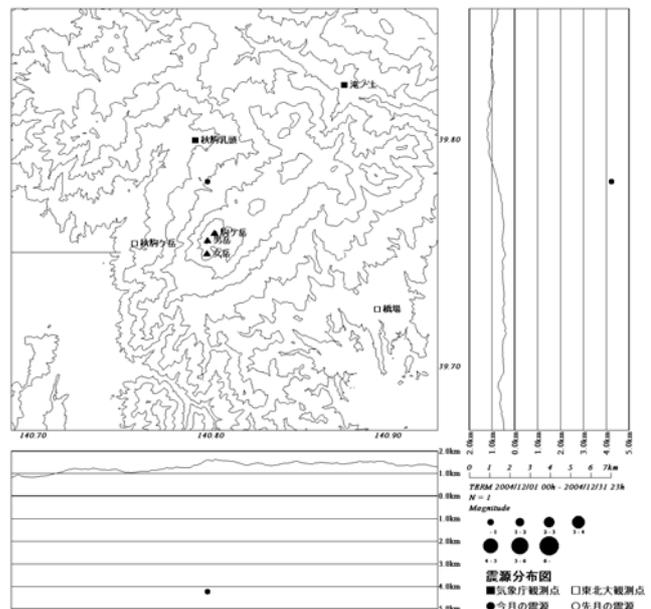
機上観測による状況

12月9日に陸上自衛隊東北方面総監部の協力による機上観測を実施しました。女岳山頂北西部の噴気地熱地帯では融雪域はあるものの、噴気は観測されませんでした。



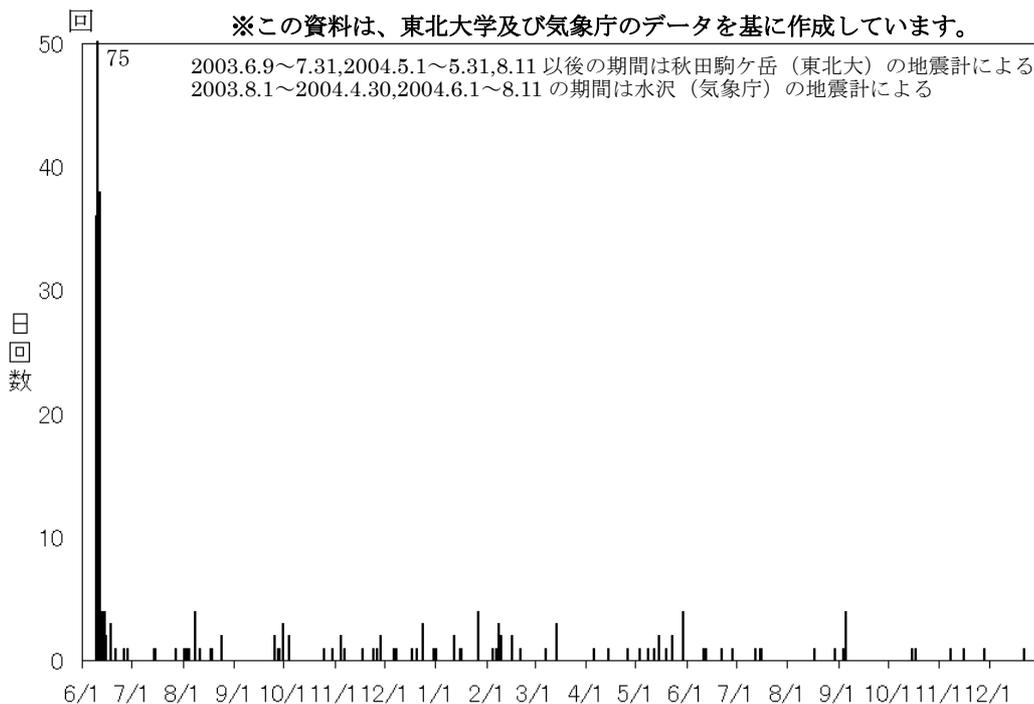
秋田駒ヶ岳観測点配置図

※この資料は、東北大学及び気象庁のデータを基に作成しています。



秋田駒ヶ岳震源分布図(2004. 11. 1～2004. 12. 31)

※この資料は、東北大学及び気象庁のデータを基に作成しています。



秋田駒ヶ岳日別地震回数
(2003. 6. 9～2004. 12. 31)

上空からの観測状況 (平成 16 年 12 月 9 日実施)

女岳山頂北西側の噴気地熱地帯では引き続き融雪域が確認されましたが、今回の観測で噴気は観測されませんでした。

1970 年から 71 年に噴火した女岳溶岩流の輪郭がくっきりと確認でき、現地観測時 (昨年 9 月 15 日) に赤外線熱映像撮影で地熱か日射の影響かが判断できなかった場所 (溶岩流先端部) は、着雪しており、地熱ではないことが確認できました。

たびたび融雪しているとの情報が寄せられる大焼砂は、今回の観測でも積雪が少ない状態でした。しかし、熱映像画像から熱異常は解析されず、大焼砂の東側斜面の高温部は日射の影響によるものと思われます。



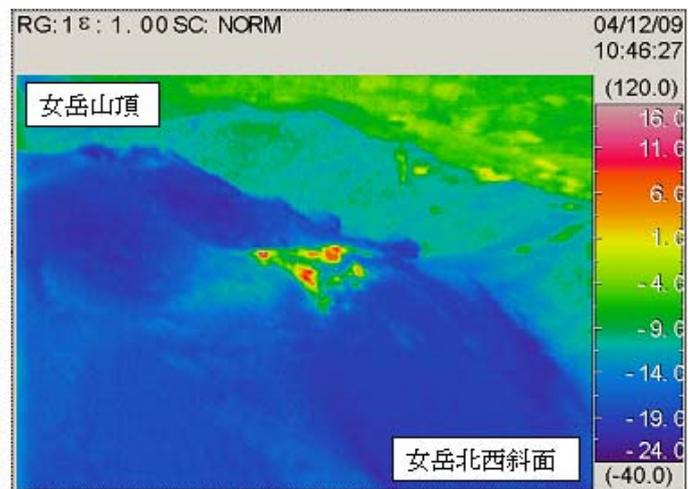
女竹溶岩流



女岳山頂

女岳北西斜面

女岳北西斜面の画像(2004.12.9)

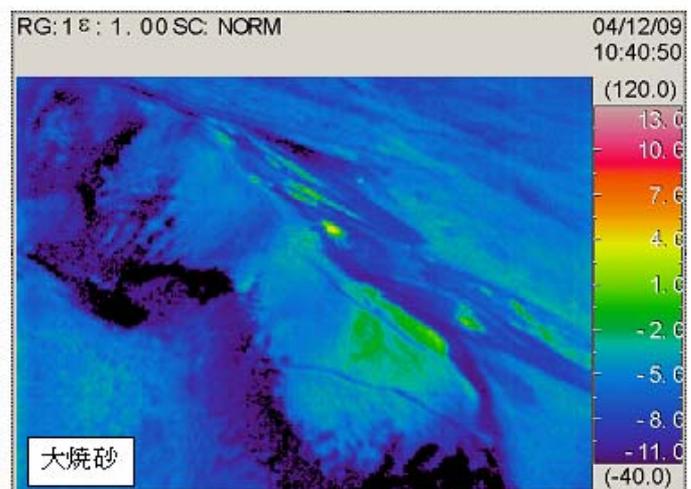


女岳北西斜面



大焼砂

大焼砂の画像(2004.12.9)



大焼砂